



学校だより

やさとっ子

四日市市立八郷小学校

第 24 号

令和 4年11月15日

めざす子どもの姿：かしこい子 あたたかい子 たくましい子

自然教室に行ってきました。

8日(火)9日(水)は、5年生の自然教室でした。

四日市市少年自然の家での入所式で、「学校へ帰ったときに、自然教室をやったよかったです、いろんなことに挑戦できてよかった、と思える2日間にしよう」という話をしました。

1日目は、四日市スポーツランドでアスレチックを楽しみました。体力に合わせたグループでやってみました。アップダウンのきついコースで、なかなか大変だったと思います。

天候に恵まれ、外でおいしくお弁当を食べることができました。

その後、40分ほどかけて、四日市市少年自然の家まで歩きました。茶畑の広がる道を進む気持ちのよいハイキングでした。

到着したら、森の中を使ってオリエンテーリングです。ポイントでのミッションをクリアしようと、地図を見ながら歩き回っていました。

日が沈むのも早く、真っ暗な中、厳かに始まったキャンプファイヤー。真ん中の火を囲んで、ダンスやゲームをしました。月食も見ることができました。

2日目は、展望台で、朝日が昇るのを見るところから始まりました。

野外炊事では、空き缶を使って、ご飯を炊きました。炊き上がりの具合はいろいろでしたが、温めたルーをかけて、カレーライスとしていただきました。

退所式で、自然の家の方に、子どもたちが「楽しかった!!」と答えていたので、ほっとしました。仲間と色々な経験をしてたくさん学び、よい思い出となったことでしょう。

保護者の皆様には、子どもたちの健康管理や準備などお世話になりました。ありがとうございました。

マジックショー～

今年も、国内外で数々の賞を受賞されている、若手イリュージョニストDAIKIさんに来ていただき、6年生とひまわり学級の児童がマジックショーを見せていただきました。

DAIKIさんは、10歳の時に小学校の体育館で見たマジシャンの演技に魅了され、マジックを始めたそうです。そして、ご自身の受けた衝撃と感動を、大勢の方にも伝えられるよう日々頑張っているらしいです。

小学生の時に抱いた夢をかなえようと努力を続けてきた、DAIKIさんの言葉やショーでの姿は、ショーを見たみなさんの心に印象深く残ったことと思います。

子どもたちの将来の夢や希望が広がってくるとよいと願い、続けられてきたこの「マジックショー」も今年で8回目となりました。これは、元学校運営協議会委員長で、現在も学校資料室運営委員としてお世話になっている、大島保さんのご厚意によるものです。

学習支援ボランティアでお世話になっています。

ありがとうございます。

5年生の家庭科での「初めてミシン」や3年生の図工での「くぎうちトントン」では、学校運営協議会委員・図書館ボランティアの地域の方に学習支援ボランティアとしてミシンや金づちを使うときの支援をお世話になっています。

5年生は、1学期も来ていただいているので、互いに見知った顔となり、親しく挨拶をしたり、気軽に教えていただいたりしています。

3年生は、昨年度2年生のときに、かけ算九九の暗唱を聞いてもらったことをよく覚えていて、同じ方が来てくださったことで「九九の時の人だ！」と声をかけることができました。

このように、地域の方ともあたたかいつながりができていること、先生や家の人ではない地域の方から、あたたかい声かけをしていただけることで、みんな笑顔になれることが、いいなと思います。